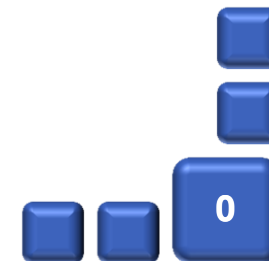

ポスト3. 11の「見えない世界」を構想する

よりよい社会的意思決定のための「中間団体」

2011年7月10日

HOSP! 代表 鏑木孝昭
(日本未来学会 常任理事)



HOSP!

持続可能なコミュニティを、本気でつくる、大人たちの会

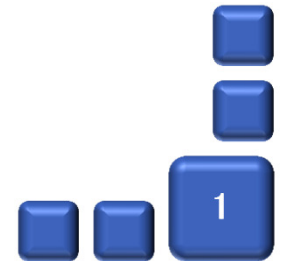
◆東日本大震災があっても、目指すものは変わらない。
課題と機会がともに増えたと理解すべき

◆「持続可能な様式で生きるために必要なものを生産し、公平感のある分配を行う。」
下線を実現するには、社会の意思決定ができるだけ正しく行われる必要がある。

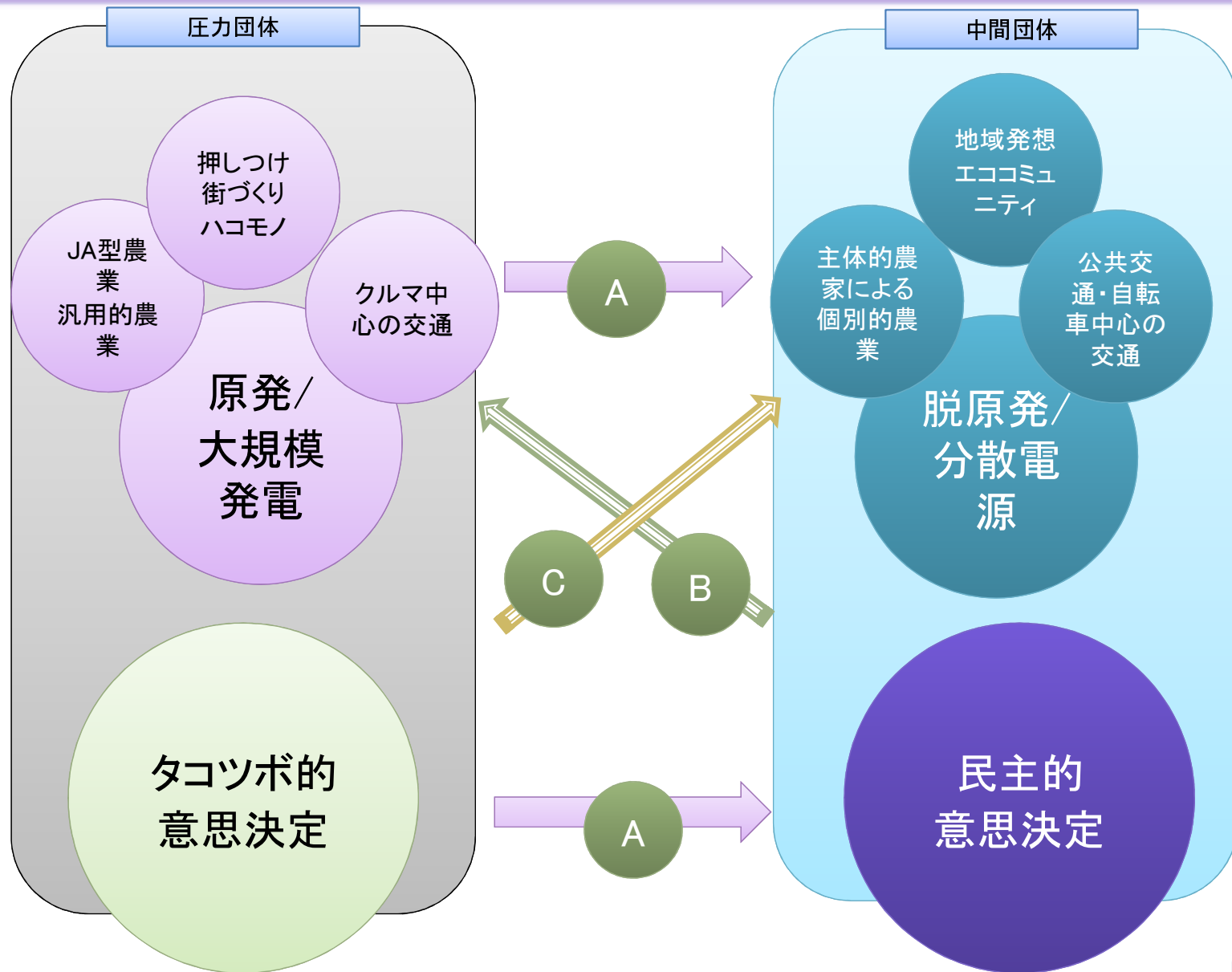
■なぜ中間団体か？

◆3.11は「人災」。社会インフラを作ってきた主体が、「10m以上の津波はこない」「原発は何重ものバックアップがあり、絶対安全」という神話を作り対策をしなかった。このことが明らかになった今こそ社会の意思決定のプロセスを変える機会。

◆決定を民主的にすること : その鍵になるのが「中間団体」



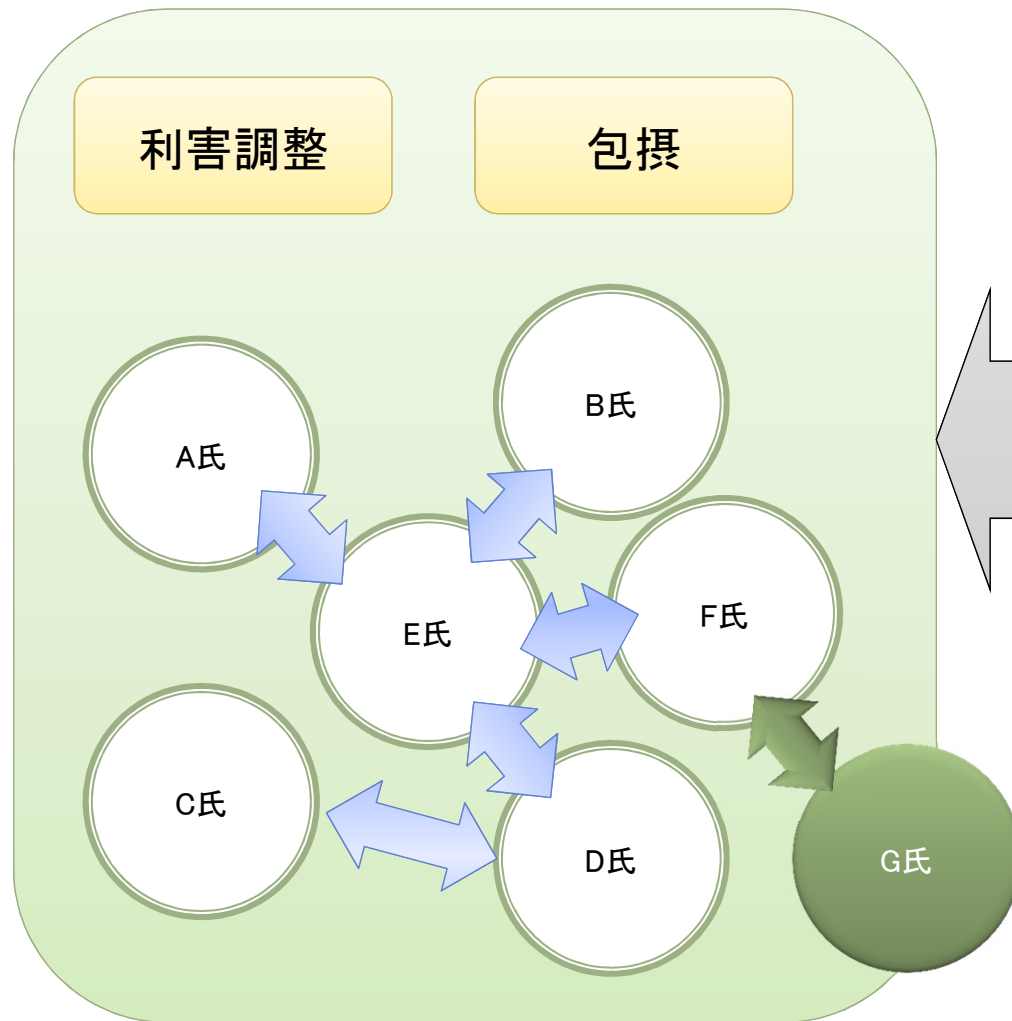
脱原発だけでいいか？ 社会の意思決定様式を変える必要



中間団体とは？

- 広い意味での中間団体は、NPO、学会、町内会、圧力団体としての農協なども含む。
- 民主主義は本来議会の多数決。But 実際には、特に日本では圧力団体が大きな役割を果たしてきた。
- 圧力団体はいわば「ウィッシュリスト」を並べる団体。
- 今は低成長の時代であり、利害調整が必要。
- 知見があり、客観的であり、国や社会を思う気持ちがあり、ビジョンを作りそれを説明・説得する力がある中間団体の機能を大きくしていく必要がある。
- そのような中間団体は決して多数ではないが存在している。

利害調整は「包摂」とセット → 「公共」



ねじれた「公共」

▼

「国を守る→
国あつての国民の自由」

「愛国心をもつことが公共心」

「国歌を歌わないなら免職」

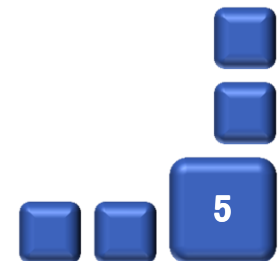
▼

自由・多様性を実現してこそ、公共

中間団体に関する提案 その1

- **まだ多数派になっていない中間団体のプラットフォームを作る。
(中間団体連合会??)**

- ① **日本にこの中間団体の概念を広める。**
- ② **中間団体として役割を果たせそうな団体に中間団体の概念を説明し、仲間になるよう呼びかけをして中間団体の層を厚くする。**
- ③ **中間団同志、中間団体と市民、中間団体と意思決定層との対話や討論の場を作る。**



- **新しいタイプの中間団体との連携もしくは設立**

「エネこみ」 by 渡辺パコさん

エネルギーのコミュニティ&エネルギー(シフト)にコミット

<http://enecommi.com/wordpress/>

- ◆ **知る** : 知って知人を誘えるように、疑問・反論への対処も

- エネルギーシフト、自然エネルギー、原発事故、
マスメディア、政治的意思決定・・

- ◆ **行動する** : 小さくでも賛成・応援や反対の意思を送る →

変革の後押し、流れ

- 「政治・行政に」「企業・団体・個人に」「マスコミに」

ブログのサンプル

東京新聞に掲載された原発事故直後「文科省 浪江町の高線量把握」について意見を送りました。

<http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2011070690065906.html>
(記事へのリンク)

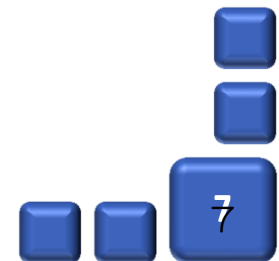
解説

送った賛同意見

送り先のメールアドレス

賛同意見を送るように促すメッセージ

この記事そのものをツイートできる。



- 「エネこみ」との連携、あるいは同じ機能で別のテーマに取り組むのはどうか？ → 農コミ、YOKOコミ(横浜) …
- これらの活動が、日本の意思決定のプロセスを民主化することにつながるであろう。
- カレル・ヴァン・ウォルフレン曰く「1万人のブルジュアがいれば日本は変わる」… それを作っていくことかも??
- 「行動する学会」でありたい。

ご清聴ありがとうございました。

